

## ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

## 礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局  
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201  
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817  
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



みんなでカレーを食べてます!(カンボジア孤児院)

皆様の貴い御支援、御協力、いつもありがとうございます。

いまだ世界中で止まることを知らずに猛威を振っているコロナウイルス騒動ですが、私共の孤児院関係では感染者をだしておらず、みな元気になっていることをまず皆様に御報告しておきたいと思います。

皆様には大変なお気遣いをいただき、本当にありがとうございます。

とは言え、油断してはいけませんので、最低限でも対応をとる必要を感じております。

しかし、このコロナウイルス騒動による、世界規模、世界各国の経済の落ち込みは大きいようで、品不足や値上げの心配も小さいものではありません。

ただでさえ、各孤児院から運営費の増額を訴えてきておりますが、コロナ問題により、さらに必要が増し加わっているといった状況です。

皆様の御支援により、各孤児院の子ども達が元気に生活できることを本当に感謝するとともに、どうかこれからも皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願い申し上げます。



## カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きのための皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。8月に予定されていた9年生(中学3年)と12年生(高校3年)の全国統一試験は延期されて、9月に行われることになりました。現在(8/10)の段階で、進級が確定した子ども達が3人いる事が学校からの連絡でわかりました。幼稚園に通っていた2人が1年生に進級し、もう1人は飛び級試験を受けて合格すればさらに4年生に進級出来る可能性が出て来ています。幼い時から、半身麻痺と病気があり、成長が遅れがちだった1人の子どもが、ステイホーム期間に、スタッフに付きっきりで自転車の乗り方を教えてもらっていたところ、1人でも自転車に乗り、走ることに成功いたしました!本人は諦めていたようですが、やればできる事を体験し、とても喜んでいました。学校が未だ休校というかつてない厳しい状況の中で、子ども達も様々な事を頑張り、成長している様子を見るのが出来、私達にとっても励みとなっております。また、今年はコロナ禍の影響により、正月休暇がいつもの時期より少しずれたため、いつもより早めの対応をしているところです。1日も早い新型コロナウイルスの終息と学校の再開が一番最善の時にされるようにと祈り願っています。



雨がやると止んで外で過ごす子ども達、雨の日が多くなって来ました

## フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様のフィリピンの子どもたちのための暖かいご支援に心から感謝致します。2020年~2021年の学校のオンライン授業が間もなく始まろうとしています。早めに始まっている学校もありますが、ほとんどの学校は8月24日からスタートです。NPO法人Class for Everyoneの皆様のご支援で、子どもたちがオンライン授業を受けるのに必要な中古のPCを送って頂けることになり、まず最初にお送り頂いた18台がマニラまで到着したことを確認しました。無事税関を通り、ダバオへの輸送許可が出て、授業開始に間に合って到着するよう願っています。もし子どもたち全員にPCを購入すると非常に高額な費用がかかります。子どもたちの必要をご理解下さり、速やかに対応して下さいましたClass for Everyoneの皆様にご心から感謝しています。また皆様のご支援により東京事務局から、今年度の学校登録料と学費を送って頂くことが出来ました。皆様のご支援に心から感謝致します。ダバオ市では、8月15日より全ての市民にフルフェイスシールドの着用が義務付けられます。フィリピンの子どもたちのために、引き続き皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



スモークーマウンテンの子どもたち

## ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)? ザンビアはまだまだ冷え込む日が続いています。コロナのニュースも静まり、レストラン等が再開して少し賑やかさが戻り、やれやれ、と安心していただけの間、死者が200人に達したとのニュースが飛び込んできました。先月には中国がチャーター機2機で、在ザの中国人(乳幼児と高齢者中心)を帰国させたとの事でしたコロナで、あまり多くの事はできないのですが、ンゴンベコンパウンド(スラム)にある孤児のための宿題配布と食糧支援を継続しています。また、学校再開できたら、子どもたちが新しい気持ちで来れるようにと、ペイントの塗り替えもしました。孤児たちの家庭訪問をした時に、家賃が払えずに夜逃げして、住所が変わった家庭がいくつかあり、貧困がますます逼迫している様子が伝わってきました。そのため、食糧支援時に、保護者へのインタビューを行い、現況の把握とニーズの確認をしたところ、やはり、1日1食も厳しい家庭が多い事、衣類、生活必需品(石鹸等)も支援して欲しいという切迫した声がたくさんありました。そこで今後は更に緊急支援を広げていくことを計画しています。皆様どうぞご協力よろしくお願い致します。



保護者との面談

## ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。先月の終わり頃、掃除をしようと、出入口近くに置いていたスーツケースをどかしたところ、サソリがいました。最近湿度が20%代で、非常に空気が乾燥していて、サソリの活動も活発化しています。腰痛対策で床に寝ていて、足元数十センチでよく刺されなかったと背筋がゾッとしました。まさか天井がなくなるとは思っていなかったのか、サソリは丸まってお休み中のような様子でした。殺るか、殺られるかの世界なので、ビーチサンダルで退治させていただきました。ドアの隙間が3cm位あるので、布を丸めてふさぐようにしています。ブラジルでは新型コロナウイルス感染者が300万人、死者が10万人をこえ、私が住んでいるサンパウロ州では、まだいっせいに商業施設のシャッターがおりたままで、スーパーに入る時にマスクは義務で、デジタル検温されます。コロナ禍の前に、住んでいる集合住宅の大家さんが、大麻常習の住人に退去していただいていたため、夜間の騒音がなくなり、本当に感謝しています。困難な状況ですが、皆様のさらなるご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



銀行にて、松本スタッフ